

資料

1 沿革

- 明治 43年 宮古町（現：宮古市）にあった岩手県立水産学校の校舎の一部に、岩手県水産試験場を創設。試験部、庶務部の2部制で発足
- 大正 9年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市）に移転新築
- 昭和 2年 津軽石、大槌、釜石さけ人工ふ化場を水産試験場に移管
- 4年 2月、水産試験場に漁業用海岸局（無線局）を設置
- 8年 昭和8年3月3日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失
- 14年 水産試験場庁舎及び漁業用海岸局を釜石市新浜町に移転新築
- 23年 水産試験場に漁船技術員養成所を併設
- 24年 組織を庶務会計部、漁労部、養殖部、製造部の4部制に改編
- 25年 気仙郡赤崎町に赤崎実験所を開設
- 27年 組織を庶務会計部、資源調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 28年 気仙郡広田町に水産試験場気仙分場を開設。組織を庶務会計部、漁労調査部、製造部の3部制に改編
- 31年 漁業用海岸局（無線局）を釜石市大平地区に移転新築
- 35年 組織を庶務部、漁撈調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 36年 製造部を利用部に改称
- 42年 宮古市大沢に水産種苗センターと下閉伊分場を開設
- 44年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築
- 45年 久慈市に水産試験場九戸分場を開設
- 48年 機構改革により庶務部、漁撈調査部、利用部、環境保全部、増殖部の5部制に改組。新たに専門技術員が駐在。翌49年、漁撈調査部を漁業部に、利用部を加工部に改称、専門技術員を室に改め5部1室制に組織改編
- 53年 専門技術員を林業水産部漁業振興課に移管。
- 54年 大船渡市末崎町に岩手県栽培漁業センターを開設
- 55年 宮古市津軽石に下閉伊分場を移転、開設。
- 56年 機構改革により気仙分場、赤崎実験所、水産種苗センターを廃止。水産試験場の増殖部と下閉伊分場、九戸分場を栽培漁業センターに移管、下閉伊分場を宮古分場、九戸分場を久慈分場と改称。水産試験場の組織を庶務部、漁業部、加工部、環境保全部の4部制に改編
- 57年 加工実験室を開放実験室として業者に開放
- 62年 九戸郡種市町に北部栽培漁業センターを開設。大船渡市末崎町の栽培漁業センターを南部栽培漁業センターに名称変更
- 平成 元年 漁船技術員養成所を廃止
- 6年 3月、釜石市平田に庁舎移転新築。水産試験場及び南部、北部栽培漁業センターを統合して岩手県水産技術センターに機構改革。宮古分場の名称をさけ・ます研究室に改称。総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部、種苗開発部、漁場保全部、さけます研究室の7部1室制に改組。久慈分場は廃止
- 9年 さけます研究室業務を漁業資源部が所管し、職員は漁業資源部員（3名）が兼務
- 11年 組織改編により水産業専門技術員を本庁から水産技術センターへ移管
- 13年 宮古市津軽石のさけ・ます研究室を廃止
- 18年 岩手県行財政構造改革プログラムにより総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、

増養殖部及び漁場保全部の6部制に改編

- 19年 マナマコ種苗生産技術開発のため(社)岩手県栽培漁業協会種市事業所に駐在職員を派遣
- 21年 マナマコ種苗生産技術確立により(社)岩手県栽培漁業協会種市事業所への職員駐在終了
- 22年 水産試験場開設から100周年を迎える
- 23年 東日本大震災津波によりセンター施設が被災
- 26年 被災した施設の復旧工事終了
- 28年 台風10号により県北ふ化場施設が被災
- 31年 県北ふ化場施設解体撤去

2 職員名簿

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
所 長 稲 荷 森 輝 明	H31.4.1 転入(前任・宮古水産振興センター)
副 所 長 前 川 秀 則	H31.4.1 転入(前任・岩手海区漁業調整委員会事務局)
副所長兼漁場保全部長 武 蔵 達 也	
首席水産業普及指導員 横 沢 雄 大	H31.4.1 昇任(企画指導部長)
総 務 部	
主 幹 兼 総 務 部 長 昆 野 宣 弘	H31.4.1 昇任(総務部長)
主 査 主 濱 隆 志	
主 事 千 葉 陽 介	H31.4.1 新採用
企 画 指 導 部	
部 長 大 野 宣 和	H31.4.1 転入(前任・岩手県内水面水産技術センター)
主 査 専 門 研 究 員 佐 々 木 律 子	
技 師 岸 航 平	
漁 業 資 源 部	
部 長 太 田 克 彦	
主 査 専 門 研 究 員 清 水 勇 一	
専 門 研 究 員 児 玉 琢 哉	
専 門 研 究 員 佐 藤 俊 昭	
専 門 研 究 員 相 生 信 彦	H31.4.1 転入(前任・宮古水産振興センター)
専 門 研 究 員 森 友 彦	H31.4.1 転入(前任・農林水産部水産振興課)
専 門 研 究 員 長 坂 剛 志	
利 用 加 工 部	
部 長 田 老 孝 則	
上 席 専 門 研 究 員 上 田 智 広	
主 査 専 門 研 究 員 藤 嶋 敦	
技 師 滝 澤 紳	
増 養 殖 部	
部 長 野 呂 忠 勝	H31.4.1 昇任(上席専門研究員)

令和元年度岩手県水産技術センター年報

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
主査専門研究員 田中一志	H31. 4. 1 転入 (沿岸広域振興局水産部)
専門研究員 渡邊成美	
専門研究員 高梨 脩	
専門研究員 佐々木 司	
技 師 北川真衣	
漁 場 保 全 部	
上席専門研究員 加賀克昌	H31. 4. 1 新採用
主任専門研究員 渡邊志穂	
専門研究員 瀬川 叡	
技 師 多田裕美子	
岩 手 丸	
船長心得 村上孝弘	H31. 4. 1 再任用
上席通信士 藤沢 収	
主査航海士 金野善広	
主任機関士 湊 光春	
主任航海士 藤井正樹	
主任機関士 村上和人	
航海士 中村 宏	
航海士 佐々木 達	
機関士 佐野和也	
航海士 川村昇吾	
機関士 佐藤 仁	H31. 4. 1 新採用
北 上 丸	
主査航海士 福士正紀	
上席機関士 熊谷勇一	
主査通信士 黒沢清隆	
航海士 武田拓也	
機関士 細谷優太	
機関士 佐々木幹郎	

3 表彰

表彰区分	職 名	氏 名	実績の概要	受賞日
令和元年度 農林水産部長職員表彰	副所長	前川 秀則	いわて水産アカデミー の運営体制の整備・円 滑な運営	R2. 3. 27
	副所長兼漁場保全部長	武蔵 達也		
	首席水産業普及指導員	横沢 雄大		
	専門研究員	森 友彦		